

講義名称	ソーシャルワーク実習Ⅱ<3年>
開講責任部署	大学
講義区分	実習
基準単位数	3.0
科目群（区分）	専門展開
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	3年後期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	子ども福祉学科（4）、社会福祉学科（4）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	24210089
金城大学人間社会科学部社会福祉学科	14214089

担当教員

氏名	所属
◎ 岡村 綾子	大学・人間社会科学部・社会福祉学科
柴田 紀子	大学・人間社会科学部・社会福祉学科
久富 郁代子	大学・人間社会科学部・社会福祉学科
内 慶瑞	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科

授業概要	①ソーシャルワーク援助過程の実践を通じての理解。 ②利用者やそのニーズの把握及び支援計画の作成と実施及び評価。 ③利用者やその関係者との援助関係の形成。 ④社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任への理解。 ⑤多職種連携及びチームアプローチの実践的理解。 ⑥施設・事業者等の経営やサービスの管理運営の実際。 ⑦利用者やその関係者（家族・親族、友人等）への権利擁護活動とその評価 ⑧ソーシャルワーク実践に求められている技術の実践的理解（アウトリーチ、ネットワーキング、コーディネート、ネゴシエーション、ファシリテーション、プレゼンテーション、ソーシャルアクション）
到達目標	① ソーシャルワークの実践に必要な各科目の知識と技術を統合し、社会福祉士としての価値と倫理に基づく支援を行うための実践能力の基礎を習得する。 ② 支援を必要とする人の状況を理解し、その生活上の課題（ニーズ）について把握することができる。 ③ 生活上の課題（ニーズ）に対応するため、支援を必要とする人の内的資源やフォーマル・インフォーマルな社会資源を活用した支援計画の作成、実施及びその評価を行うことができる。 ④ 施設・機関等が地域社会の中で果たす役割を実践的に理解することができる。

授業計画表

授業計画表

第1回

【授業計画】

レジデンシャル・ソーシャルワーク実習の第2段階である「職種実習」「ソーシャルワーク実習」として実施する

「職種実習」（おおむね第1週）
「ソーシャルワーク実習」（おおむね第2週～4週）
※「職種実習」と「ソーシャルワーク実習」あわせて18日間

- ・ソーシャルワーク援助過程の実践を通じての理解。
- ・利用者やそのニーズの把握及び支援計画の作成と実施及び評価。
- ・利用者やその関係者との援助関係の形成。
- ・社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任への理解。
- ・多職種連携及びチームアプローチの実践的理解。
- ・施設・事業者等の経営やサービスの管理運営の実際。
- ・利用者やその関係者（家族・親族、友人等）への権利擁護活動とその評価
- ・ソーシャルワーク実践に求められている技術の実践的理解（アウトリーチ、ネットワーキング、コーディネーション、ネゴシエーション、ファシリテーション、プレゼンテーション、ソーシャルアクション）

・実習中は、実習指導者による指導と実習指導担当教員の巡回指導等を通して指導を受ける。

【事前事後学修の内容】

実習の振り返り。
次の日の実習目標を立て、達成課題を明らかにする。

履修に必要な予備知識や技能	「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ」で学んだ内容をしっかり理解して実習に臨むこと。ソーシャルワーク実習Ⅰにおける到達点と課題を明確にしておくこと。
課題に対してのフィードバック	実習期間中の巡回指導及び帰校日の際に、諸記録の点検・指導を行う。
評価方法・基準	実習施設・事業からの評価、実習態度、レポート等により総合的に評価する。評価の割合は担当教員から実習指導Ⅱのオリエンテーションで案内する。
教科書	参考書：担当教員より必要に応じて案内する。
実務経験の内容・期間	社会福祉士（内 慶瑞 市町村社会福祉協議会のボランティア・コーディネーター4年、福祉活動専門員5年）